

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化を通じた機運醸成策に関する関係府省庁等連絡・連携会議(第6回)

東京2020大会に向けた
文化関連事業の取組

平成29年12月18日

外務省

東京大会は対日理解の促進，親日層の形成のため，日本文化を発信する好機

在外公館（全世界で221公館）

- ◆ 現地のニーズにあわせ，東京大会に向けた機運を醸成するような和食，華道，茶道，武道等のデモンストレーション，日本映画上映会，邦楽演奏会（和太鼓，三味線等），ポップカルチャーイベント（コスプレ），日本語弁論大会等を実施。
- ◆ 特に，オリンピック開会式当日に合わせた文化行事の開催，在外公館での天皇誕生日祝賀レセプションにおける東京大会関連広報・文化事業は効果的。
- ◆ 平成28年度は967件の文化事業実施。



ブラジル人オリンピック・メダリスト
によるデモンストレーション（ブラジル）



野外和太鼓公演（オーストラリア）

国際交流基金

- ◆ 平成28年度は約900件の文化芸術交流事業実施。
- ◆ 松竹歌舞伎公演等，大型の文化行事の実施
- ◆ アジアセンター事業を通じて，アジアとの双方向交流事業の実施



©松竹株式会社

ジャポニスム2018

- ◆ 日仏友好160周年にあたる2018年、フランスのパリを中心に展覧会、舞台公演、日本映画上映等様々な文化事業を大規模に実施。
- ◆ 柔道企画の他、日本の祭りや和食・日本酒紹介などの企画を通じ、地方の魅力や日本製品の発信も行なう。
- ◆ 2019年は米国と東南アジアで同様の事業を検討中。
2020年に向けて海外から機運醸成を図る。

今後の検討課題

- ◆ 2020年東京オリパラ大会と共鳴させた文化事業の実施。



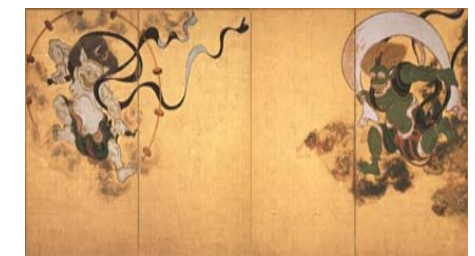
ジャポニスム2018総合推進会議



ジャポニスム2018記者発表会



河野外相と仏ジャポニスム関係者との意見交換



国宝〈風神雷神図屏風〉俵屋宗達筆
京都・建仁寺蔵 江戸時代

外務省のbeyond2020プログラム認証状況



- ◆ 外務省及び国際交流基金はbeyond2020プログラムの**認証組織**として認定済み。各組織主催の文化事業をbeyond2020プログラムとして認証する。
- ◆ オリパラ事務局が以下の国・地域においてロゴマークの商標登録を申請したことをうけて、海外での使用を開始。
中国、韓国、EU、英国、米国、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、台湾、香港、インド、豪州、カナダ、ロシア
- ◆ 平成29年12月現在、外務省は**273件**、国際交流基金は**330件**を認証済み。